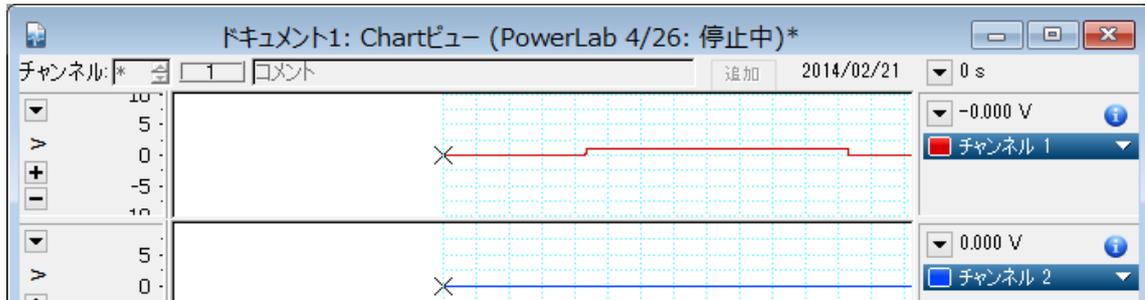
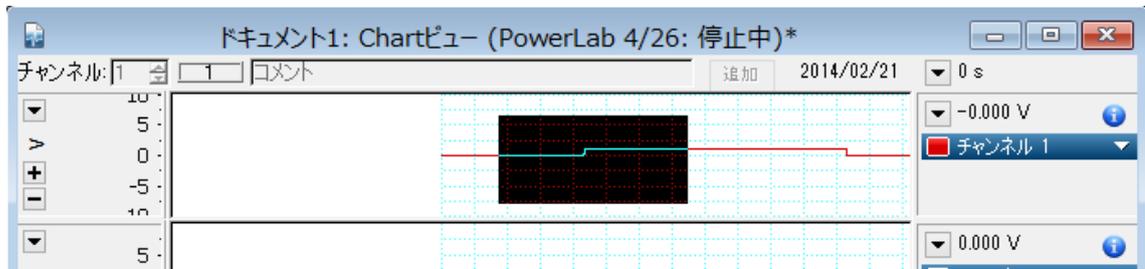


外部機器からのキャリブレーションの方法

- ① 記録をスタートして、外部機器からキャリブレーション信号を入力します。

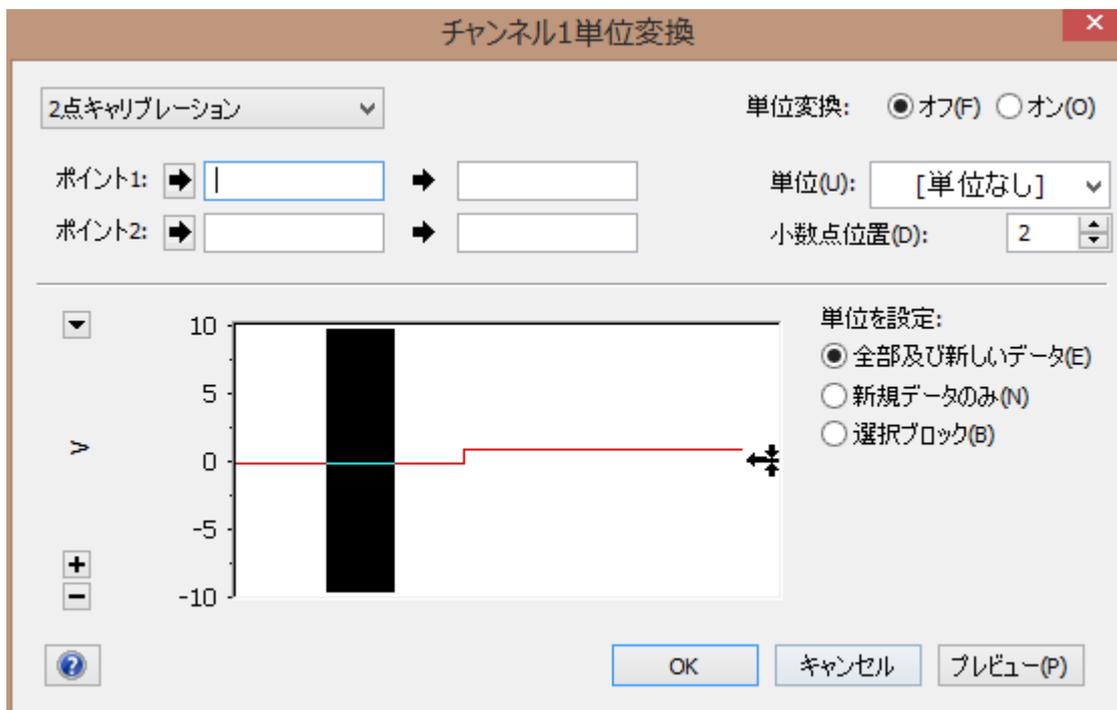


- ② キャリブレーション信号を含むシグナルをマウスで囲い、黒反転させて選択します。

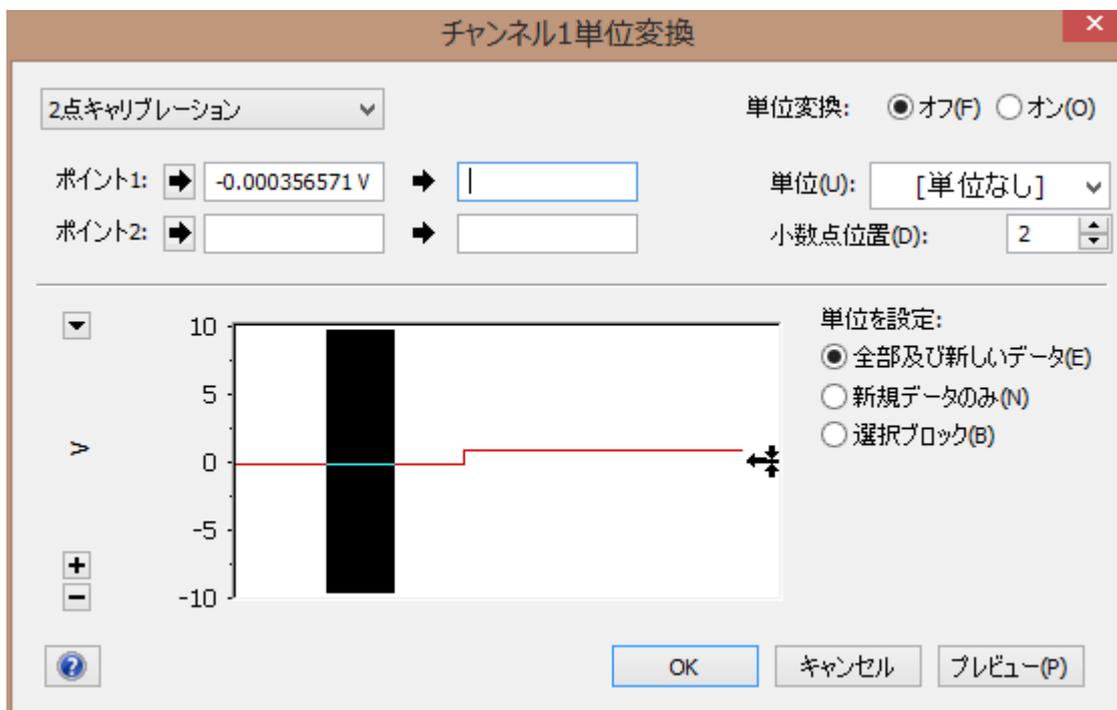


- ③ チャンネル名の右にある▼をクリックします。するとドロップダウンメニューが表示されますので、その中から「単位変換」を選択します。
すると下図のようなダイアログが表示されます。

- ④ 低いキャリブレーション値の一部をマウスで囲い、黒反転させて選択します。



- ⑤ 画面左上の「ポイント1」の右にある➡をクリックします。すると、その横の欄に、選択させている部分の平均値が表示されます。



- ⑥ 右の欄にキャリブレーション値を入力します。

チャンネル1単位変換

2点キャリブレーション

単位変換: オフ(F) オン(O)

ポイント1: →

ポイント2: →

単位(U):

小数点位置(D):

単位を設定:
 全部及び新しいデータ(E)
 新規データのみ(N)
 選択ブロック(B)

OK キャンセル プレビュー(P)

- ⑦ 高いキャリブレーション値に対しても同様の操作を行います。

チャンネル1単位変換

2点キャリブレーション

単位変換: オフ(F) オン(O)

ポイント1: →

ポイント2: →

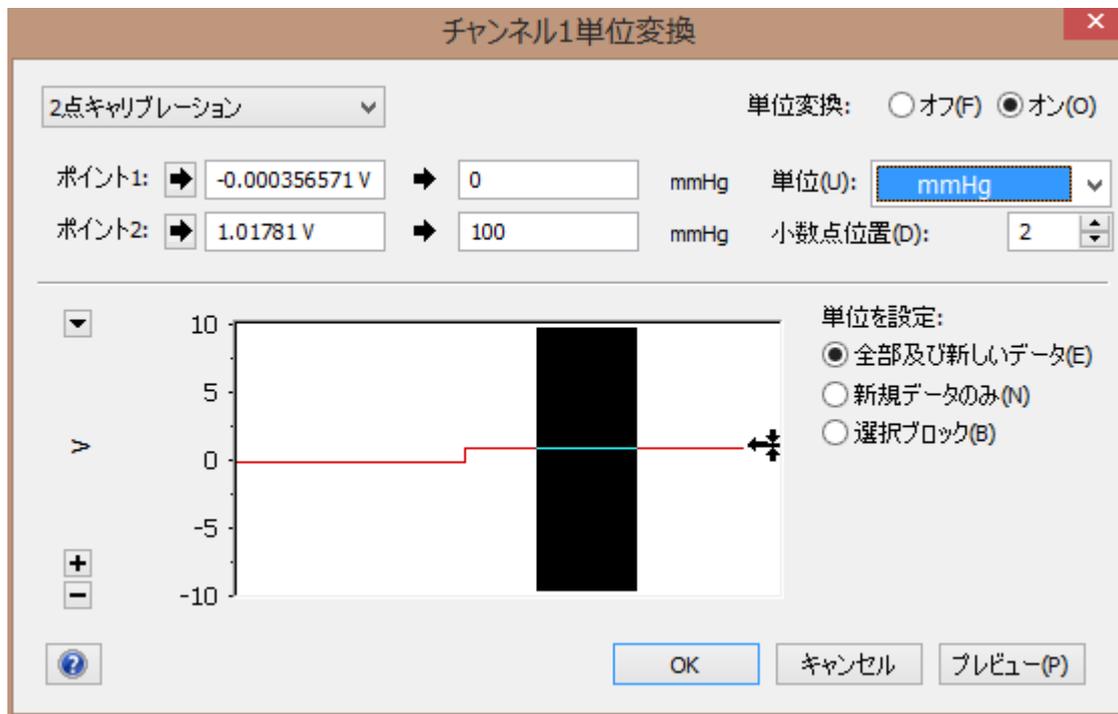
単位(U):

小数点位置(D):

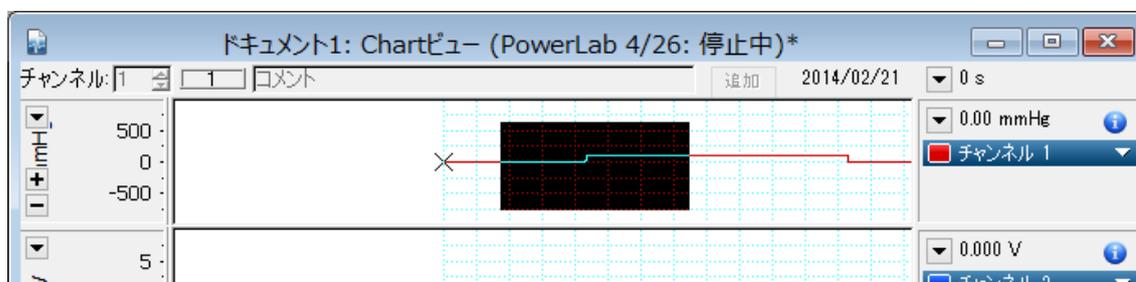
単位を設定:
 全部及び新しいデータ(E)
 新規データのみ(N)
 選択ブロック(B)

OK キャンセル プレビュー(P)

- ⑧ 最後に画面右上の「単位」をクリックし、該当する単位を選択します。リストに該当する単位がない場合は、リストの下にある「単位設定」から任意で単位を設定することができます。



- ⑨ OKをクリックします。



- ⑩ メニューバーの「ファイル>設定を保存」を選択し、設定ファイルを作ること、キャリブレーション情報を残した状態で、新たに記録を行うことができます。